

2000年3月25日 No. 48

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 遠藤 一郎

東京都港区新橋 5-17-7 小林ビル

TEL 03-3434-1236

FAX 03-3433-0334

全国一般全国協

2000年春闘！中小労働者はこれからだ！ 反戦平和、生活と雇用を守り、団結して闘いぬこう

全国一般全国協議会中央執行委員会

リストラ・雇
用破壊NO！
失業に立ち向か
う全国キャラバ
ンの成功を！

ベアゼロから五百円とい
う史上最低の賃上げで大手
JC、連合の春闘は終わっ
たという。中小労働者の二
千年春闘はこれからだ。中
小労働者の生活防衛のため
の賃上げ闘争を職場で最大
限闘い抜くと同時に、「リ
ストラ、雇用破壊NO！失
業に立ち向かう全国キャラ
バン」に取り組もう。

四つの課題を
実現しよう！

- ①パート・臨時・派遣など「非正規」雇用労働者の雇用保障と均等待遇の確立
- ②失業給付引き下げの雇用保険改悪反対！
失業者に仕事を 仕事づくりの運動を！
- ③会社分割・譲渡等組織変更、リストラによる組合つぶし、解雇は許さない！
国際基準に基づく労働者保護立法を！

④ILO勧告に従い政府・JRは一千四十七名の原職復帰を！
という四つの課題を掲げ、失業者、「非正規」雇用労働者、中小労働者の声を全国に響かせよう！

会社法制の改悪
を許さないぞ

労働基準法、派遣法、職
安法など労働法制の改悪に
よる雇用の流動化、不安定
化攻撃の上に、今日会社法
制の改悪を通じた大リストラ
攻撃が掛けられてきてい
る。産業再生法、民事再生
法、企業分割法がそれだ。
しかも、これらを主導し
ている通産省は、企業の競
争力再生第一主義で、労働
者保護など眼中にない。企
業はできあがった法律を最
大限利用し、労働者を切り
捨て、使い捨て、安上がり
な「非正規」雇用労働者に
置き換えてきている。この
ように敵の攻撃が全面的で
あるが故に、労基法改悪反
対や派遣法改悪反対と課題
を絞った闘いと異なり、総
合的取り組みが必要になっ
ている。

全国協は四月二
十日東京へ結集
しよう

各地、各組合が抱えてい
るリストラ闘争や一千四
十七名の解雇撤回現職復帰
の国鉄闘争と結合し、国際
労働基準の実現を対置し大
キャンペーン運動として取
り組もう。雇用保険法改悪

反対、企業分割に伴う労働
者保護法制定要求国会闘争
に向け全国から攻め上ろう。
全国一般全国協議会はこの
キャラバンの成功のため
先頭に立って闘おう。
共同アピールの賛同団体
になり、各地のキャラバン
を全力で支えよう。
四月二十日東京へ結集し
よう



1/29~30 全国協、全日建連帯共同研究集会 (於：大阪)

北から南からリストラ・雇用破壊NO!

東北発

NTTリストラを許さない! 東北ブロック

四月七日仙台を出発、十日盛岡、十一日青森、十二日秋田、十三日山形、十四日福島、東北を一巡する反失業キャラバンを計画、十日の栃木につなぐ。仙台では集会とデモを、秋田ではリストラに負けずに職場を守り頑張っている竹村製作所の仲間の激励懇親会を企画、福島(郡山)では集会を準備している。宮城では、沖繩に次ぐ高校卒業者の就職内定率ワースト二を記録しており、県知事に対して緊急雇用対策を始め具体的な施策を求める行動を中心に取り組む。四月には職に就けない新規卒業者が失業者に加わるなか、失業

撤回闘争の勝利的な和解を実現できたものの、依然として、首切り雇い止めの争議職場が多い。長崎連帯支部・長船労組においても、三菱重工が大規模なリストラ計画を発表した。くまもとゼネラルユニオンの外国人教員の雇い止めも迫っている。また、ユニオン北九州のトラック分会、タクシー分会を始め首切りや不当な

合理化提案と必死でたたかう仲間もいる。ブロックではこうした闘いを結集して、キャンペーンの取り組みを実現する。三月四〜五日の静岡における全国交流集会に参加し、全国の仲間とともに闘う陣形を作り、三月二十六日〜二十七日のホットラインでは国労をはじめとした地域労組と共闘も作り出していく。四月には、キャラバン行動を福岡、熊本でも取り組む決意である。

北九州発

首切り―合理化を許さないぞ! 九州・山口ブロック

九州山口ブロックにおいては、二月十四日に春闘討議会を開催しキャンペーン

者の生活保障に逆行する雇用保険改悪を許して良いのか都県知事に迫っていきたい。また、二万一千名のリストラを強行しようとしているNTTでは、持ち株会社がその合理化計画を策定分割された各会社に押しつけているにもかかわらず、組合の交渉要求に対し当事者ではないと、陳情扱いでしか受け付けていない。正社員を大幅に削減しながら、大量の派遣労働者に置き換えている。企業組織変更に伴う労働者保護法制定要求運動の具体的事例として、NTTリストラを許さないキャンペーンを柱の一つに据えて取り組む。

取り組みの体制を整えた。ブロック内では、ラジオメーター労組の中尾さんの解雇

大阪発

4・13 扇町公園に 三千人の結集を! 関西ブロック

関西の今春闘は、二月の日産ホットラインと徳島現地闘争、南海タクシーの高裁勝訴で始まりまし。また、福井県の中国人実習生の争議をゼネラルユニオンが開始し、ユニオンネットの春闘集会には彼女達が登場!三月十四日の大阪総行動には五輪・ジオス以外に「福井班」も派遣されました。また待望の「失業者ユニオン」も、全労協と全日建関西生コン支部の呼びかけで、三月九日に発足しま

した。あらゆる相談・溜まり場・研修・行政交渉など総合的な活動が開始され、大反響を呼んでいます。四月には、二日の「響け沖繩の心!関西集会」の京都開催が準備されており、中旬の反失業全国キャラバンへと結ぶ予定です。既に、徳島や京都などの諸行動が具体化しつつありますが、十三日夜の大阪・扇町公園の集会は、全国最大の三千人規模の大結集が目指されています。

関西ブロック

京都発

4・14 雇用保険改悪NO 労働者保護法制定を! 京都実行委員会

日産車体京都工場の閉鎖で関連下請け企業を含む雇用問題、ユニチカ工場の全員転籍リストラ、南京都信用金庫と京都みやこ信用金庫の経営破綻、その煽りで中小の連鎖倒産、大型書店駿々堂の倒産、地元スーパーの倒産等、京都南部は失業者激増地域。京都キャラバンは四月十四日朝、通称「倒産街道」をリストラ・雇用破壊NO!の情宣をガンガン鳴らして募進し、出勤途上の労働者にアピール。近鉄駅前情宣の後、三隊に分かれ、日産始め前述の倒産・リストラ企業前で情宣とビラ撒きを行い、地元及

び京都市内の職安へ。雇用保険改悪NO!の申し入れを行い、求職に来所する失業労働者に「京都南部リストラホットライン」のビラを配付し、労働者保護法制定要求署名を呼び掛ける。そして、宇治市、宇治市議会、京都府職安課へ要請行動を行う。夜は集会を行い、前述課題及び年金改悪、会社法制改悪への反対、ILO勧告通りの国労闘争団千四十七名職場復帰要求、戦争準備、改憲、沖繩基地強化、倒産失業、大リストラ攻撃との闘争強化を決議する。

愛知発

4・17 行政交渉・ 争議組合支援行動へ! 権利春闘ネット愛知

愛知においては、四月十七日に全国キャンペーンを取り組みます。取り組み内容は、三月下旬の事務局会議にて決定しますが、予定では午前中に県と交渉、昼からは争議組合支援行動、

夕方頃にミニ集会を行う予定です。今年の愛知での取り組みは、一月上旬に権利春闘ネット愛知を発足し、下旬には争議団争議組合交流集会を開催し、現在争議

を行っていますところからの

神奈川発

少数から多数へ 学べから行動へ！

神奈川の二千年春闘の取り組みは、まず学べから始まった。一月三十一日、全日建運輸連帯の小谷野書記次長を招いて、県共闘主催の学習会が取り組まれた。「今こそ、労働組合の作り直しが必要だ。中小企業・下請け・非正規雇用労働者・外国人労働者など、社会的弱者の多数を代表する組織と運動作りを！」小谷野さんの主張は明快だ。続いて、全国一般独自で二月十三日ゼネ石の佐藤さんを招いて「多数派を目指す少数派遣動」を講演してもらった。関連百六十名の組織化など、

経過報告と今後の闘い方について検討を行ってきまし。そして二月中旬には、三月二十三日二十四日に取り組み電話相談に対応できる勉強会を行い、昨年は倒産した場合の対応をテーマに持ちました。今年には組織拡大の為に組合作りとして取り組みました。最後に三月中旬には、第一波権利春闘一日行動を行い、現在争

さすかという運動だ。学べから行動へ、県共闘は、二月二十五日県共闘春闘総決起集会を開催し、行動に乗り出した。最初の行動は、「日の丸・君が代リレー」への支援だ。市民団体の行動に、まさかと思うほど右翼が集まり、まあ大変だった。こんなので懲りてはダメ、三月十六日例年の春闘一日行動を、神奈川交流・県共闘が母体となつて行う。日産リストラ、争議支援の後、大通り公園の集会・デモとなる。今年で三年目、春闘再生の声は消えない。

議をかかえている名古屋管理職ユニオンにて解雇問題二件、ユニオン名古屋にて労働条件改善問題一件を争議支援し、東海インターナショナルのジョオスの件について抗議のビラまき情宣を行い、当日の締めくくりとして三月二十三日二十四日の労働相談のビラまき情宣を行い充実した一日を取り組みました。

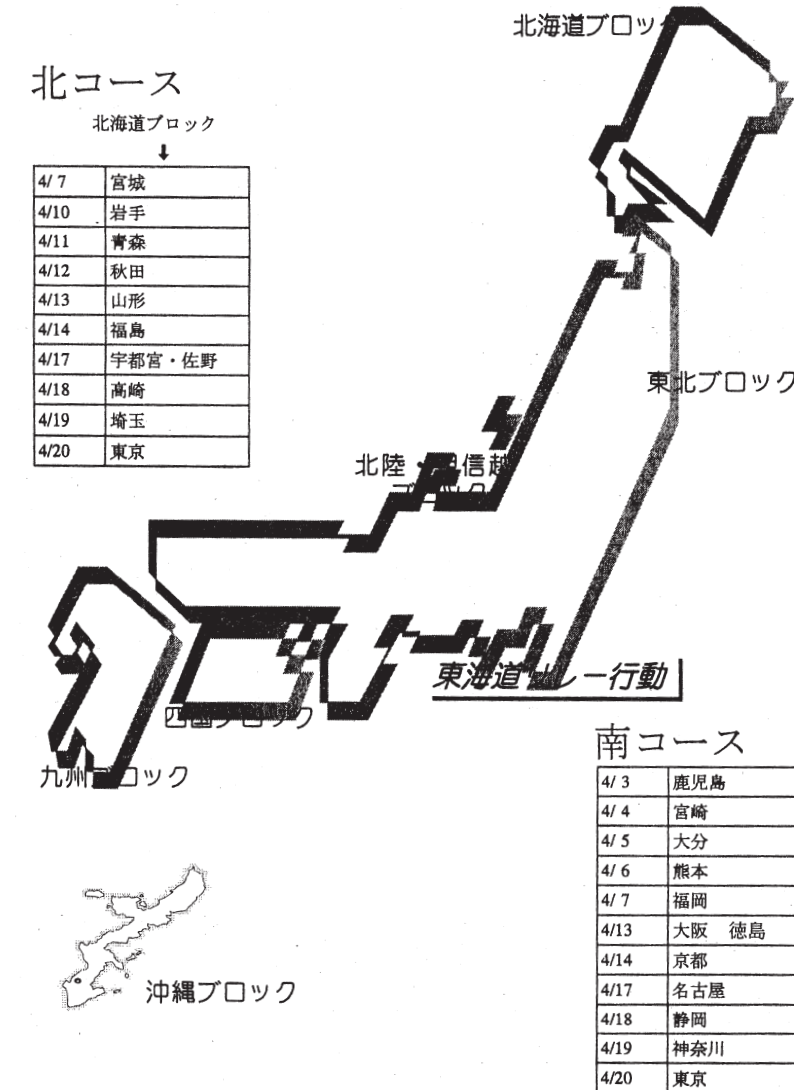
東京発

日比谷集会 デモに結集しよう

三月二十一日、日暮里サニーホールで「リストラ・雇用破壊NO! 失業に立ち向かう 3/21共同アピール集会」が開催され220名が結集して全国行動へ出立した。集会ではシンガー・ソングライター熊谷誠二さんがギターを片手に熱唱、居酒屋「りすとらん・元気交産店」の瀬戸さん、有期雇用労働者、国労闘争団、在日ペルー人労働者などが闘いの決意を表明した。いよいよ全国行動が始まる。

三月二十一日、日暮里サニーホールで「リストラ・雇用破壊NO! 失業に立ち向かう 3/21共同アピール集会」が開催され220名が結集して全国行動へ出立した。集会ではシンガー・ソングライター熊谷誠二さんがギターを片手に熱唱、居酒屋「りすとらん・元気交産店」の瀬戸さん、有期雇用労働者、国労闘争団、在日ペルー人労働者などが闘いの決意を表明した。いよいよ全国行動が始まる。

全国ブロック行動&キャラバン



集に向けて各地で前段集会を開催しながらキャラバン。当日の総行動が取り組まれることになる。

四月二十日、東京では昼休み光輪モーターズ争議の黒幕である富士銀行への抗議行動を皮切りに雇用保険改善と労働者保護法の立法

を求めて労働省前大行動などを展開して日比谷音大集会・デモを繰り広げることになる。

全国の中小企業労働者・「非正規」雇用労働者・滞日外国人労働者・失業者を結集して「リストラ・雇用破壊NO!」「雇用を確保せよ!」「解雇制限法・労働者保護法を作れ」と言うの労働者の声を政府・財界に突きつけよう。

**リストラ・雇用破壊NO!
失業に立ち向かう4.20中央集会**

会場：日比谷野外音楽堂
開会：午後 6 時30分
(集会後、国会へデモ)

ラジオオメガター争議解決の報告

ラジオオメガター労働組合

九十六年四月、ラジオオメガタートレーディング(株)(本社：東京、親会社：デンマーク)で組合結成準備中に転動拒否を理由として懲戒解雇されたラジオオメガター労組の副委員長中尾光明解雇撤回闘争は本年一月二十三日勝利的和解を勝ち取ることができました。東京地裁の仮処分で敗訴し、どん底からのスタートでしたが全国協本部、九州山口ブロック、北九州合同労組、長船の西村さんの力強い支援を受け、地労委闘争、福岡地裁地位保全の裁判闘争に取組んできました。昨年には四月福岡県地方労働委員会において懲戒解雇は不合理ではなかったとの理由で救済申し立てを棄却するという不当な判断が下されました。しかし、私たちは公的機関がいかなる判断を下そうが自主交渉において必ず解決させるという闘争方針のもと、組合の財政を使い果たしも、徹底的に闘うことを意思統一しました。

そして四月に全国協本部、東京なんぶ、全国協九州山口ブロックの皆さんに支援を頂き、東京本社前行動、デンマーク大使館に対する争議解決協力要請を行い、五月には組合の分散弱体化を狙った会社の策動に対して組合員全員でストライキを決行、東京本社前に結集し抗議行動を行いました。それから一気に会社は争議解決のモードになり、七月頃から和解交渉が水面下で始まり今回の勝利的和解を勝ち取ることができました。また、委員長太田啓一に対する不当降格に関しても原職に復帰させることで一応の決着がつかれました。しかし、解決の裏には何かある、現に企業合併の噂が出て来たり、組織変更が行われたりと、社員の雇用を不安にさせる要因はたくさんあります、いかに雇用を守っていくかが今後の大きな取組み課題です。「一人の首切りも許さない。何事にも屈しない。」私たちは今後

一昨年七月二十一日におきた突然の会社倒産、解雇、失業、カメラのニシダ従業員全員が、閉ざされた店のシャッターの前で茫然とした。あの日から埼玉支部大宮西分会という労働組合での闘いが始まった。今まで幾度となく言ってきたような気がするが、皆、いわゆる「にわか組合員」、埼玉支部の嘉山委員長を始め、多くの労働組合の方々にごだけ指導、支援をいただいたか数知れない。職場占拠、再建委員会での自主営業、

店舗の競売、そして落札、一年半という月日の中で私達は多くの経験をした。再建委員会を去っていった人達も、それぞれの道を否応なしに選択せざる得なかった。しかし、各々自分たちの選択を決して後悔していない。十五年間営業をしてきた大宮の地を離れ、見ず知らずの赤羽に、有限会社カメラのニシダとして、新店舗をオープンして早一ヶ月、週六十時間以上の勤務

時間、店のプライスカードPOPも手作りだ。代表取締役を置き、会社の形態をどうにかしてはいても皆が同等である。言いたいことは何でも言える。問題があれば、全員が納得するよう協議する、これが会社の方針だ。日々新たな苦勞こそあるが、ある時はお客様の人情にも励まされ、従業員七人が、いつも初心を忘れることなく前向きに、いつの日かまた、大宮に帰れることを願って努力していきたい。

寄稿

自主再建に勝利したぞ

カメラのニシダ再建委員会

署名活動報告

沖縄普天間基地の県内移設に反対する署名は五百二十一人となり沖縄現地と一坪反戦地主会関東ブロックに郵送しました。



自主再建/カメラのニシダ赤羽店

全国協・全日建主催で共同研究会を開催

一月二十九日と三十日、全国協・全日建主催の共同研究会が開催された。参加者は約百名。「失業と不安定雇用、リストラの二十一世紀をどう闘うか」がテーマである。全国協遠藤書記長は、職種の違い労働者や不安定雇用労働者・外国人労働者の組織化を報告した。全日建連帯闘生支部武委員長は、業界団体に対する産別闘争と統一労働条件獲得の闘いを報告した。この二日間は、両労組の特徴や経験を学ぶ良い機会となった。龍谷大脇田教授の講演では、派遣労働者の実態と、派遣先が雇用責任を取らない不当な派遣法の説明がなされた。全日建連帯垣沼書記長からは、大企業のリストラ、雇用保険改悪との闘い、国鉄闘争勝利、労働者保護法成立、争議支援に向けた「リストラ・雇用破壊NO!全国キャンペーン」の提起がなされ、全国協中岡委員長の団結頑張るうで今春闘を闘う決意を固めたのである。